

平成 30 年度第 1 回
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日 時：平成 31 年 1 月 11 日（金） 19：00～20：30

会 場：袋井市役所 4 階 庁議室

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、加々美道也委員、木村満義委員
田代貴志委員、水野信也委員（6 人）

<会議次第>

○報告事項

- (1) 第 2 次総合計画及び第 2 次行政改革の概要について
- (2) 第 7 期行政改革推進委員会について

○意見交換

<会議の概要>

委員委嘱や会長・副会長の選出をはじめ、袋井市行政改革推進委員会における推進体制やスケジュール、重点取組テーマ「業務の生産性向上×市民サービス質向上」「公共資産 SUKIMA で稼ぐ×市民サービス質向上」について説明を行い、テーマや今後の進め方についてなど幅広く委員からご意見、ご提案をいただいた。

(委員意見)

- ・行政改革も政策改革であり、新たな投資先を見つけていく。スリム化は相当やり尽くしているため、逆に力を入れる場所を決め、筋肉をつけていく。
- ・当たり前だと思っていることでも、基準を決めて調査すると本当の姿が見えることがある。違う視点でみるということも大事。
- ・経験値や当然と思っているものを数値にして可視化する。そこから専門的な意見を引き出し、仮説を立てられると様々なアプローチができる。
- ・ICTをやみくもにやっても良いサービスにはならない。一方をスリムにして、一方を厚くするなど、対象にする人たちに合わせたサービスの質を考えるべき。
- ・RPA に向く業務と向かない業務がある。積極的に試してみるべき。
- ・各エリアにコミュニティの場があり、住民票の取得や市民の憩いの場として機能するような組織や庁舎があるとよい。
- ・組織として検討したものではなく、職員のアイデアレベルの提案を募集してほしい。それを基に次回、意見交換を行う。委員からも、事前にアイデアをいただきたい。